

# 静岡県環境アセスメント協会 会報誌



新年あけましておめでとうございます。

2024 年の新しい年を迎え、関係各位の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響から社会が脱し、県民の活動も活発さを取り戻してまいりました。同時に、静岡を取り巻く社会情勢はより変化の速度を増し、また、環境の問題・課題も広がりを見せています。

私たち環境アセスメント協会の 6 社は、本年も静岡のより良い未来と成長を創り出すために、研鑽してきた技術をもって、地球環境と地域社会の多様性、持続性に貢献してまいります。

なにとぞ、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

静岡県環境アセスメント協会  
理事長 河合恒一

## 令和 5 年活動報告

令和5年は新型コロナウイルス感染症流行前の日常を取り戻しつつある 1 年となりました。本協会で毎年参加している「麻機遊水地フェスタ」は 4 年ぶりの開催、「麻機遊水地クリーン作戦」も例年通り実施、協会の理事会・総会、環境保全セミナーも対面(会場)で実施することができました。



# ★麻機遊水地における外来種防除活動



2023年5月20日、麻機遊水地保全活用推進協議会主催、麻機湿原を保全する会、静岡県土木事務所、静岡市役所共催による麻機遊水地クリーン作戦に参加しました。静岡県環境アセスメント協会からは16名が参加し、当協会の専門性を生かして、特定外来生物の防除活動を行いました。

## 特定外来生物の防除活動

麻機遊水池第3工区での外来種駆除活動も、2014年開始から9年目(作業なしの年を含む)を迎えました。近年はオオキンケイギクが減ってきたため、別の外来種の引き抜き作業をしています。特にナガエツルノゲイトウは麻畑川から遊水地にも侵出しており、繁殖力が強いので要注意の種です。



ヒルザキツキミノソウ



ナガエツルノゲイトウ



オオブタクサ

外来種防除活動 2023年5月 ※周囲の写真は今回駆除した主な外来種

# ★麻機遊水地フェスタ



2023年10月21日、麻機遊水地保全活用推進協議会主催、静岡県土木事務所・静岡市役所共催による麻機遊水地フェスタに出展しました。

4年ぶりの開催でしたが、多くの方で賑わった楽しいフェスタとなりました。

静岡県環境アセスメント協会ではクラフトブースを運営し、植物の実を使ったネイチャークラフト作成指導(どんぐりやハスの実で森の小人を作ろう)を行いました。子供から大人までたくさんの方にご参加いただき、準備した190セットは午前中で終了しました。

当日作成された作品→





2023年12月8日、静岡県環境アセスメント協会および静岡県環境保全協会、静岡県との共同開催により環境保全セミナーを開催しました。

今年度も昨年に引き続き会場で開催しました。セミナーは、建設コンサルタント関連や工場等の民間企業をはじめ、県・市町の環境関連担当者に申し込まれ、参加者数は42名でした。

第16回目の開催となります。

## 講演1 「水・大気環境行政の主要課題」

環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 吉崎仁志氏より、PFASへの対応、ALPS処理水に係るモニタリング、海洋プラスチック問題への対応等に関わる環境行政について、ご講演頂きました。



## 講演2 「環境配慮型再生エネの推進に向けた環境省の取組」

環境省 大臣官房環境影響評価課 課長補佐 鈴木祐介氏より、カーボンニュートラルや再エネ政策に関する最新の情勢を踏まえた環境影響評価の動向、環境省の取組について、ご講演頂きました。



## 講演3 「静岡県水循環保全条例に基づく届出制度」

静岡県くらし・環境局環境部 水資源課 主任 小長井遥氏より、2022年7月に施行された水循環保全条例に基づく届出制度の概要についてお知らせいただきました。

静岡県環境アセスメント協会・静岡県環境保全協会・静岡県 共同開催

# 環境保全セミナー

～最近の環境行政の動向～

本セミナーは、「環境行政の最新情報の把握」を目的として開催いたします。  
今回は、「水・大気」環境影響評価に係る最近の動向について、わかりやすく説明していただきます。

日時	令和5年12月8日(金) 13:30～16:30
場所	静岡県男女共同参画センター あざれあ 501会議室 静岡県駿河区馬淵1丁目17-1 ※JR静岡駅北口から徒歩15分(徒歩のみ) 徒歩9分 ※駐車場なし(公共交通機関をご利用ください)
講演	<p>13:30～13:35 開会挨拶</p> <p>13:35～14:35 ●「水・大気環境行政の主要課題」 講師：環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 吉崎 仁志 氏</p> <p>14:35～14:45 (休憩)</p> <p>14:45～15:45 ●「環境配慮型再生エネの推進に向けた環境省の取組」 講師：環境省 大臣官房環境影響評価課 課長補佐 鈴木 祐介 氏</p> <p>15:45～16:15 静岡県からのお知らせ ●「静岡県水循環保全条例に基づく届出制度」 講師：静岡県 くらし・環境局環境部 水資源課 主任 小長井 遥 氏</p> <p>16:15～16:20 閉会挨拶</p>

参加費  
無料  
(定員90名)

■主催：静岡県環境アセスメント協会、静岡県環境保全協会、静岡県  
 ■後援：株式会社環境アセスメントセンター、株式会社サイエンス、一般社団法人静岡県産業環境センター、静岡コンサルタント株式会社、株式会社東日、株式会社フアヤマ  
 ※本セミナーは、(一社)建設コンサルタント協会 CPO 認定プログラムです。

**お問い合わせ**

●静岡県環境保全協会 静岡県駿河区千手9番18号 静岡中央ビル内  
TEL：054-254-9663 受付：平日  
E-mail：(saep-mtoy07@topaz.ocn.ne.jp)

●静岡県環境アセスメント協会 静岡県駿河区清田13-12  
TEL：054-253-3655 受付：年中  
E-mail：(searankyo2020@shizuoka\_eaa.com)

**参加申し込み**

令和5年度環境保全セミナー申込フォーム  
<https://form13442.com/form?id=6202662453880ab>

定員90名になり次第締切ります  
(申し込み締切令和5年11月30日)

河合理事長の挨拶→

↓会場の様子



# 静岡県環境アセスメント協会の活動の歴史

静岡県環境アセスメント協会は、1986年8月7日に、静岡県内の建設コンサルタントや環境測定・分析企業が集まって、健全で豊かな環境の維持と、環境アセスメント制度を普及することを目的として設立されました。それから37年を経て、現在静岡県内6社が参加・連携し、県内各地域の活性化につながる環境保全活動を行っています。

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
1986	・環境影響評価実施要綱について（環境庁企画調整局長通知）	・静岡県環境アセスメント協会設立
1987		・焼却場・し尿場環境影響評価技術指針案作成
1988		・静岡県環境影響評価技術指針案の作成
1991		・環境影響評価技術マニュアルの作成
1992	・静岡県環境影響評価要綱施行 ・絶滅のおそれのある野生動物の種の保全に関する法律制定	・静岡県環境影響評価要綱説明会開催
1993		・リモートセンシングセミナー開催
1994	・環境影響評価制度総合研究会発足	・環境創造シンポジウム開催
1995		・静岡県環境影響評価要綱技術説明会開催 ・静岡県環境影響評価技術指針の手引き作成
1996	・今後の環境影響評価制度の在り方について ・静岡県環境基本条例制定	・静岡県環境基本計画「中間検討案」への意見書提出
1997	・環境影響評価法公布	・環境影響評価法に関するシンポジウム開催
1998	・環境影響評価法施行規則公布 ・環境影響評価法に基づく主務省令公布	・静岡県における環境影響評価制度の在り方についての意見書提出
1999	・環境影響評価法全面施行 ・静岡県環境影響評価条例施行	・静岡県環境影響評価条例セミナー開催 ・静岡県環境影響評価技術指針説明会開催
2002		・環境フェア出展
2003	・静岡県版レッドリストの公表	・静岡県版レッドリスト説明会開催
2004	・まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック発行 ・静岡県版レッドリストの更新	・静岡県版レッドデータブック説明会開催 ・環境・森林フェア出展
2006		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2007		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2008		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2009		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2010	・静岡県希少野生動植物保護条例の制定	・環境・森林フェア出展
2011	・環境影響評価法改正公布 ・静岡県希少野生動植物保護条例の施行	・環境保全セミナー開催
2012		・環境保全セミナー開催
2013	・改正環境影響評価法完全施行	・環境保全セミナー開催
2014		・麻機遊水地フェスタ（環境学習会開催） ・環境保全セミナー開催
2015		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・環境保全セミナー開催
2016	・第3次静岡県環境基本計画の見直し ・ふじのくに地球環境史ミュージアム開館	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・30周年記念事業（式典、講演会） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2017	・静岡県版レッドリスト全面改訂	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2018		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境影響評価法施行令の一部改正の公布</li> <li>静岡県版レッドデータブック【動物編】公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除）</li> <li>環境保全セミナー開催</li> </ul>
2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県版レッドデータブック【植物編】公表</li> </ul>	
2021		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全セミナー開催（オンデマンド）</li> </ul>
2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県盛土等の規制に関する条例施行</li> <li>静岡県水循環保全条例施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除）</li> <li>環境保全セミナー開催</li> </ul>
2023	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除）</li> <li>麻機遊水地フェスタ出展</li> <li>環境保全セミナー開催</li> </ul>



# (株)環境アセスメントセンターの業務・CSR 活動紹介

## 静岡市 SDGs 宣言

2023年3月、静岡市にSDGs宣言を行い、業務及びボランティア活動を通じて1年間目標達成に向けて取り組みました。取り組みの一部(環境に関する目標)をご紹介します。



環境保全セミナーの企画運営、地方自治体の自然観察会の開催支援、環境に関わる広報資料作成支援により、環境教育の推進に貢献する

### 自然観察会の開催支援

自治体職員、裾野市・長泉町・沼津市・安曇野市等における親子対象の自然観察会の補助を行いました。自然とのふれあいに係る解説の仕方や安全管理について、若手社員の学習の場にもなっています。



水生生物観察会指導



自然観察会のまとめ

### 環境に関わる広報資料作成支援

令和4年度業務の成果として、令和5年3月に岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブックが発行されています。冊子編集のほか、概要版の作成支援も行い、市民が身近に感じられる自然環境の情報を盛り込みました。



河川・遊水地・海岸等における清掃活動を支援することで、川から海へと通じる生態系の豊かさを守り、マイクロプラスチック対策の取り組みに貢献する

静岡県環境アセスメント協会の一員として麻機遊水地クリーン作戦に参加したほか、河川での清掃活動を行いました。静岡県内だけでなく、長野・岐阜などの支社でも活動を行っています。



麻機遊水地クリーン作戦



犀川支流での清掃活動  
(北信越支社:長野)



自然環境調査、希少な動植物の保全対策の実施、外来種駆除活動の支援、地方自治体の生物多様性地域戦略の策定支援を通じて、地域の生物多様性の向上に貢献する

### 外来種駆除活動の支援

地域の生物多様性を脅かすとされる外来種対策・駆除活動についての支援を行っています。外来種対策は継続的に実施する必要があるため、長期的な視点で今後も関わっていきたく考えています。



富士山に外来種を持ち込まないための足ふきマット・ブラシの設置



外来種駆除イベントの開催補助  
(東海営業所:岐阜)



外来種駆除作業

### 希少な動植物の保全対策

自然環境調査で確認された希少な動植物については、レッドデータブック等の保護方針に基づき、保全対策を提案・実施しています。



### 生物多様性地域戦略

令和5年度は、静岡県内外で1県・3市の生物多様性地域戦略の策定支援を行っています。

それぞれの地域特性に合った戦略となるよう、地元の有識者や関係者との協議を重ねています。

### その他の取り組み



30by30

生物多様性のための

30by30 アライアンスに参画しています

30by30 (サーティ・バイ・サーティ)とは、生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、2030年までに国土(陸・海)の30%以上を自然環境エリアとして効果的に保全することを目標とする国際的な約束です。

弊社は生物多様性保全に係る業務経験を活かし、30by30の実現に向けた保護地域の拡大・管理の拡充を図るための取り組みを支援しています。



弊社は『環境における医師となる』を合言葉に、安全で豊かな環境を保全するため、信頼のおける技術力で地域に貢献する企業を目指しています。以下に弊社業務とその一部の例、CSR 活動についてご紹介します。

## 業務紹介

環境アセスメントに係る、自然環境調査・生活環境調査及び、水質・土壌・大気等の各種環境分析を行っています。

### 計量証明

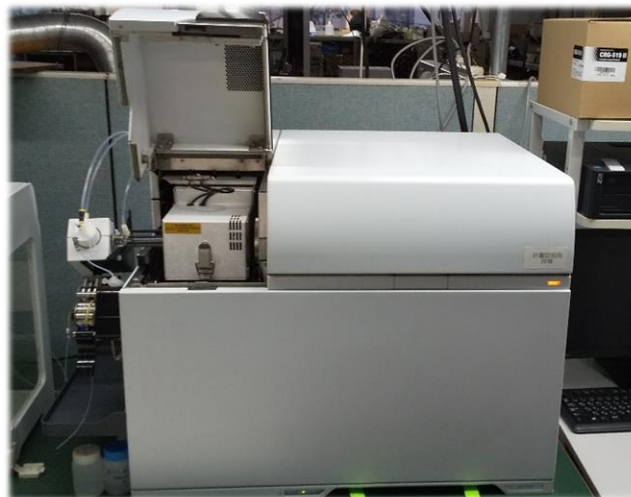
- ・水質分析（河川水・地下水・事業場排水 等）
- ・煤煙測定
- ・騒音・振動測定

### 環境調査

- ・底質調査
- ・産業廃棄物分析（燃え殻・汚泥・廃塗膜・PCB 等）
- ・アスベスト調査
- ・土壌汚染状況調査
- ・悪臭調査
- ・化学物質の濃度測定（シックハウス測定）
- ・温泉分析
- ・林地開発許可に伴う希少野生生物調査
- ・希少植物の移植作業

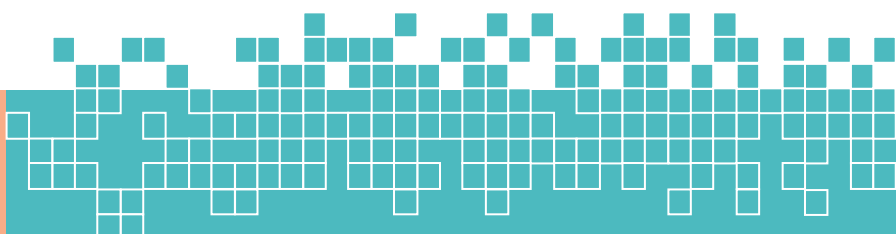


▲河川水の採水風景



▲ICP-MS

金属類の微量分析を行うことができます





## 希少植物の移植作業

林地開発許可に伴う希少野生生物調査により希少種が見つかった場合、保全が必要となります。対策については施主様へご提案をさせていただいていますが、中でも植物については弊社で移植作業も行っております。それぞれの種に適した生育環境を選定したうえで移植を実施し、モニタリングを行って定着の確認をします。実際にこれまでもキンランやシランなど、様々な植物の移植作業を行ってきました。



### ▲キンラン

静岡県レッドリスト:NT\*

環境省レッドリスト:VU\*

※ NT:準絶滅危惧種

VU:絶滅危惧Ⅱ類

### ▼シラン

静岡県レッドリスト:NT\*

環境省レッドリスト:NT\*



## 地域の有志活動への参加

三保海岸のゴミ拾いや下草刈り、不用品を持ち寄って持ち帰る掘り出し物市のボランティアスタッフなどに参加しました。地域の様々な活動に参加することで、地域とのつながりも大切にしています。



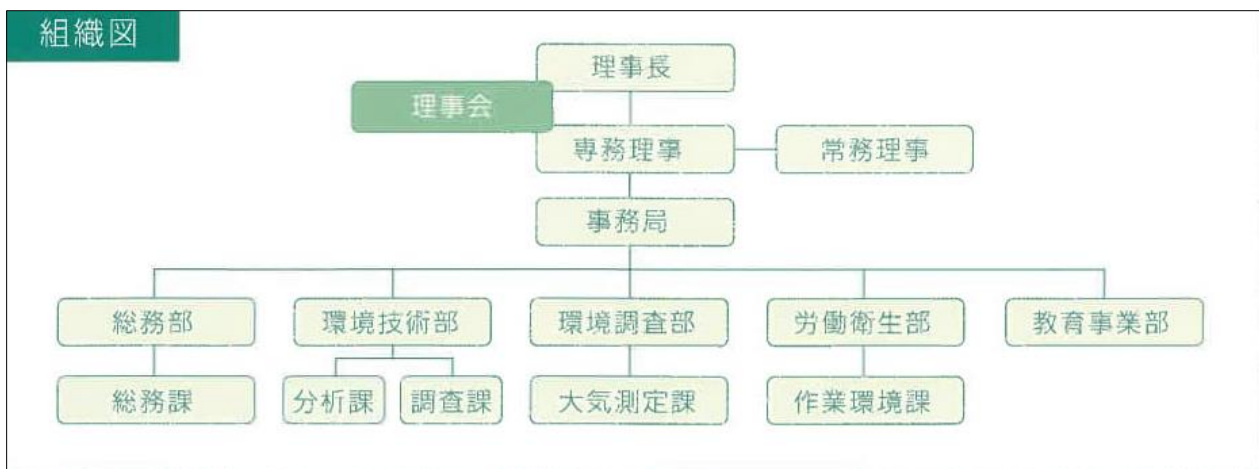
# 一般社団法人静岡県産業環境センターの業務紹介

## 健康で明るい地域社会と健全な産業の発展を目指して

表題の言葉は、当法人の定款に謳われた目的です。当法人は事業活動に伴って生ずる様々な環境問題を調査、測定、分析、評価し、環境の保全、向上、改善を推進する機関として、昭和 47 年に地域の産業界と行政機関が中心となり静岡労働基準局（現静岡労働局）の許可を受け設立されました。

皆様方から格別なご愛顧を賜わり連営は順調に推移し、永年に亘る技能の研鑽とノウハウの蓄積がもたらす高度な技術を駆使したデータとコンサルティングは、高い信頼を得ています。

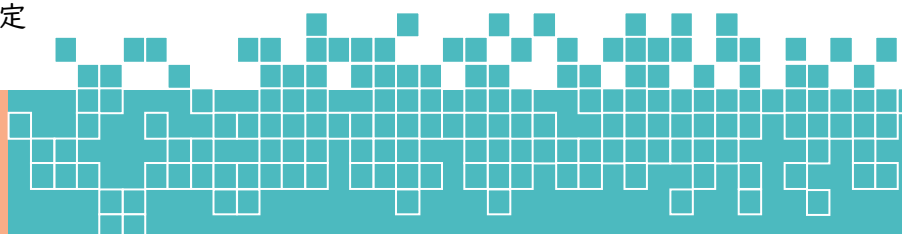
歩みを止めることなく更に努力を重ねると共に、産業の進歩にあわせ日々複雑化する環境問題に対応すべく、新技術の開発にも力を注いでまいります。



## 地球環境保全

私たちは以下の事業を通じて、地球環境保全への貢献を目指しています。

- ・大気
  - ボイラー、焼却施設などの排出ガス測定
  - 一般環境大気測定
- ・水質
  - 工場排水分析
  - 河川水質分析
  - 地下水水質分析
  - 浄化対策支援
- ・土壌
  - 土壌汚染調査
  - 土壌ガス調査
- ・騒音
  - 工場、建設工事、道路騒音測定
  - 低周波音測定
- ・振動
  - 工場、建設工事、道路振動測定
- ・悪臭
  - 発生源・環境等臭気指数・物質濃度測定





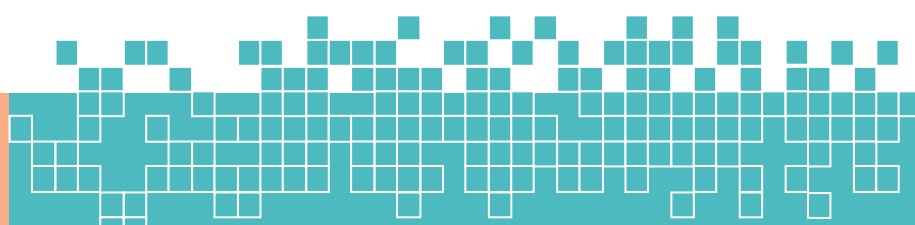
- ・産業廃棄物
  - 含有・溶出試験
  - 引火点試験
- ・環境アセスメント
  - 廃棄物中間処理施設等生活環境影響調査
  - 大規模小売店舗立地法関連調査
  - 環境影響評価
- ・環境コンサルティング
  - 大気汚染防止対策
  - 騒音・振動対策
  - 悪臭防止対策

## 労働衛生

- ・作業環境測定
- ・労働衛生(工学)コンサルティング
- ・シックハウス関連調査
- ・石綿含有分析
- ・マスクフィットテスト
- ・個人ばく露測定

## 教育

- ・環境情報セミナー
  - 定時総会の開催後に記念講演会として環境情報セミナーを行っています。
- ・労働安全衛生教育の講師派遣
  - 労働安全衛生教育の講師派遣の事業として、静岡県労働基準協会連合会等各種団体や民間企業が主催する安全衛生教育等の講師として、労働衛生(工学)コンサルタント及び作業環境測定士を派遣しています。
- ・産環セミナー
  - 労働安全衛生及び環境保全に関する教育及び指導の事業として、労務や環境の管理者及び実務者を対象とした以下の研修会を行っています。
  - ①労働安全衛生研修会
  - ②騒音・振動測定実務者研修会
- ・機関誌「産業環境」発行
  - 安全衛生及び環境に係る法令等の改正や環境に関連する最新技術等の情報を収集し、機関誌として年2回発行しています。





## 静岡コンサルタント(株)の業務紹介と CSR

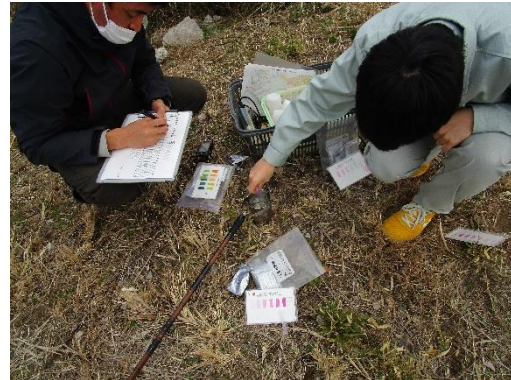
弊社では、事業による環境への影響に配慮し、専門家や地元 NPO と協働した自然環境調査・環境に配慮した工法の提案を行っています。取り組んでいる業務を紹介するとともに、地域の清掃活動、職場体験の受け入れなどを通じて、地域貢献のために下記の取り組みを実施しています。

### 松毛川自然環境調査

三島市に位置する松毛川（沼津市では灰塚川）は、昭和初期の狩野川の堤防工事により残された三日月形の止水域で、配慮すべき生物が生息しています。事業による影響を出来る限り軽減する対策を検討するため、自然環境調査を実施しています。



生態調査



水質検査



### 境川河川改良



三島市・清水町間に位置する境川の護岸整備では、周辺の境川・清住緑地、丸池公園と一体的な整備を行いました。

生物の良好な生息・生育環境を守るため最低限の改変にとどめ、整備後に河川内の植生を復元するため、ミシマバイカモやミクリ等の既存植物を移植・保護し、完成後に定植するミチゲーション工法を提案しました。



## 中学生・高校生の職場体験

毎年近隣中学校・3校、高校・2校を受け入れています。また2023年には、静岡県東部の魅力ある「働く場」があることを知ってもらう夏休み自由研究体験講座に参加し、夏休みに小学生の受け入れも行いました。体験講座では、仕事内容や UAV シミュレーター体験、点群データを用いた VR 体験などを実施しました。

職場体験では、地図情報システムを使って自宅までの地図作成や CAD や 3D ソフトを使用しての構造物設計、UAV 飛行見学など、「地図に残る仕事」の体験をしてもらいます。



小学生 体験講座の受け入れ



UAV 飛行見学

## 地域清掃活動



楽寿園清掃

三島地区環境保全推進協議会主催の楽寿園清掃へ年2回参加の他、地域清掃活動へ積極的に参加しています。また2020年に沼津土木事務所・三島市とリバーフレンドシップ協定を結び、大場川の清掃活動も行っています。



大場川清掃



## 献血活動



春と秋の年2回、本社駐車場にて、血活動を実施しています。毎回、若手からベテランまで多くの社員が参加しています。





# (株)東日の業務紹介とCSR



50年の実績から夢ある100年へ

総合建設コンサルタント

株式会社 東 日

弊社では環境系業務の一環として、大規模工業団地計画の希少野生生物の調査のほか、施設整備に伴い影響する既存樹木の移植、保全の調査、提案及び地域の自然環境整備などの測量・設計を行っています。

ここでは弊社が実施した樹木調査と水辺環境創出の一例をご紹介しますとともに、地域貢献のための取り組みを紹介します。

## 既存樹木の保全対策調査

津波対策として行われている牛臥海岸防潮堤工事に伴い、隣接する沼津御用邸記念公園（国の名勝に指定されている「旧沼津御用邸苑地」を含む）にて、海岸沿いの松林が工事に影響する可能性があるため、移植または残置が可能か判断し、その対策を検討するための調査を行いました。

調査は、生育状況を見る樹木診断調査を実施するとともに、大径木は根の張り方等を見る根系調査や土壌調査を行い、その可能性を図るための調査を行いました。



海岸沿いの松林



根系調査



大径木の根の状況

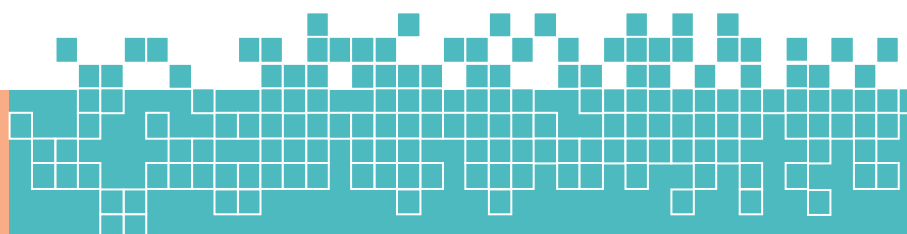


湧水を利用した水辺環境

## 身近な自然環境の創出

自然環境の機能を活用して人と自然のより良い関係を築く取り組みが広くなされていますが、例えば、市街地に残る貴重な空地を活用して水辺環境を創出するなど、身近な自然環境づくりの測量、設計も行っています。

住宅街で新たに創出した川沿いの緑地で、カワセミが観察されるようになった事例もありました。





## CSR 活動

### 狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練

当社では災害時、地域コンサルタントとしてどのような形で地域に貢献できるのか考え、日々技術向上を目指し迅速かつ安全・安心な災害対応ができるよう取り組んでいます。そうした中、平成 29 年 5 月、国土交通省中部地方整備局・静岡県が中心となった、過去最大規模の水防演習・広域連携防災訓練にドローンの技術員を派遣させて頂きました。演習では、ドローンによる被災状況調査並びにこの調査画像をメイン会場へ送信する役割を担い、大規模水害時の防災体制への参加に取り組んでいます。



ドローンによる被災状況調査訓練



土木の日イベント(令和4年11月19日)

### 土木の日

継続して、静岡県交通基盤部主催「土木の日」関連イベントに(一社)静岡県測量設計業協会のスタッフとして「土木の日 in 沼津港」の測量体験ブースに技術員を派遣し、江戸時代に日本最初の実地測量による国土の地図(「大日本沿海輿地全図(だいにほんえんかいよちぜんず)」)を作成された伊能忠敬氏の導線法を模した参加者による体験型のイベント(5m・7m・10mの長さを補足で測り、その結果を測量機器で確認する)を通じ、測量を身近で楽しく感じて頂く活動を支援しています。

### 清掃活動

沼津市主催の「フェスタ・ゴミ・IN千本浜」への参加の他、道路、公園および緑地等の公共施設においてごみ拾いや花壇の手入れ・除草等の環境美化活動に取り組む「ぬまづまちピカ応援隊」へ参加し、年2回沼津市大岡地内を流れる沼津市管理河川の清掃活動を行う等、身近な環境保全活動に社員一同積極的に取り組んでいます。



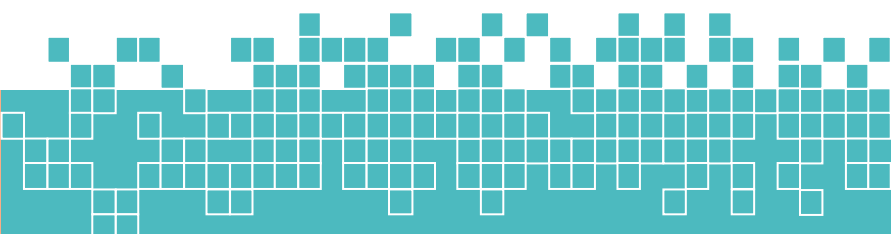
河川清掃



富士マラソンフェスタ

### 地域イベント活動への参加

新東名高速道路竣工前に開催された、同高速道路上をコースとする「ふじのくに新東名マラソン」や、モータースポーツの聖地「富士スピードウェイ」で開催された、雪景色をした雄大な富士山を眺め走る「富士マラソンフェスタ」などの地域イベントに参加したほか、従業員の自発的な社会参加として、地域社会における子供たちのスポーツ活動などへの協力を促しています。



# (株)フジヤマの業務紹介

今回は公園や街路樹などの樹木管理に関する業務をご紹介します。

## 「街にある樹木」の管理が問題

近年、公園や街路樹において、クビアカツヤカミキリやツヤハダゴマダラカミキリなど外来種による新たな病虫害が発生しています。また、植栽後の年数経過による大木化・老木化の進行や気象変動の激甚化による大型台風等の発生などにより、倒木や落枝による被害や事故が全国的に多発しています。

これまで、都市空間にある樹木は道路、公園、学校や病院など各施設の管理者によって維持されており、「除草」と同様、事後保全型の管理が主体となっていました。しかし、園内や街路では膨大な樹木本数になるところもあり、安心安全な社会基盤整備として、予防保全型の一元的な管理が求められています。



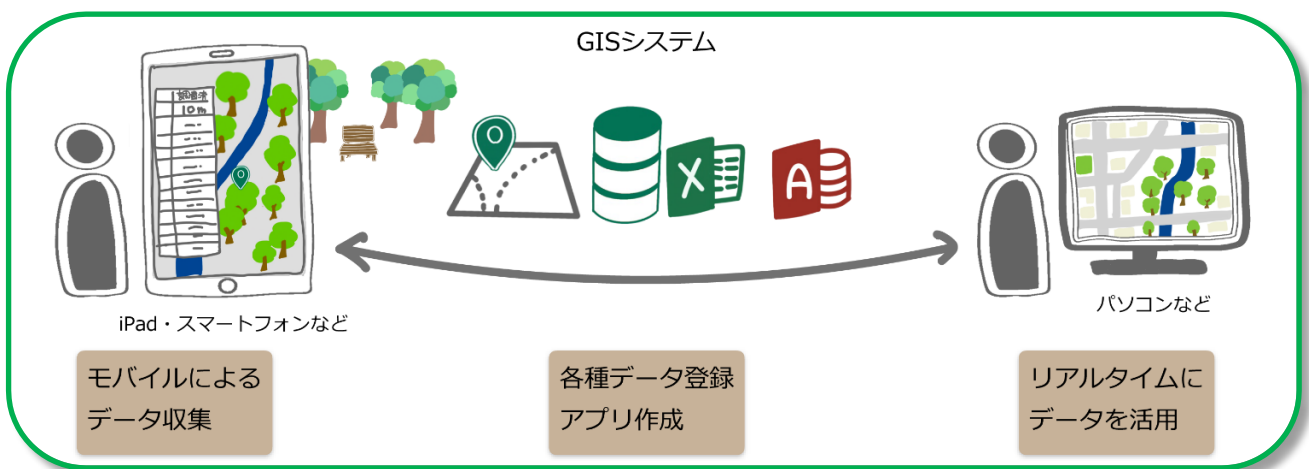
倒木した街路樹



危険木（樹木の空洞化）

## GISシステムを利用した樹木調査

当社が行う GIS システムを用いた樹木調査では、現地にて、対象樹木 | 本毎の位置座標や調査結果をタブレット端末 (iPad・スマートフォン) などに入力し、その結果を GIS (地理情報システム) に反映させます。これにより、リアルタイムにデータを活用することができるため、パソコン上はもちろんのこと、現地にて、タブレット端末などを用いての追加・編集も可能となり、樹木 | 本毎の管理を容易に行うことができます。





また、樹木本数が多いところなど現地の環境にあわせて、タブレット端末や MMS (モバイルマッピングシステム)などを複合的に組み合わせることで、より効率的な情報取得が可能です。



タブレット端末や MMS (モバイルマッピングシステム)などを用いた調査

### 新たな情報取得技術とその活用

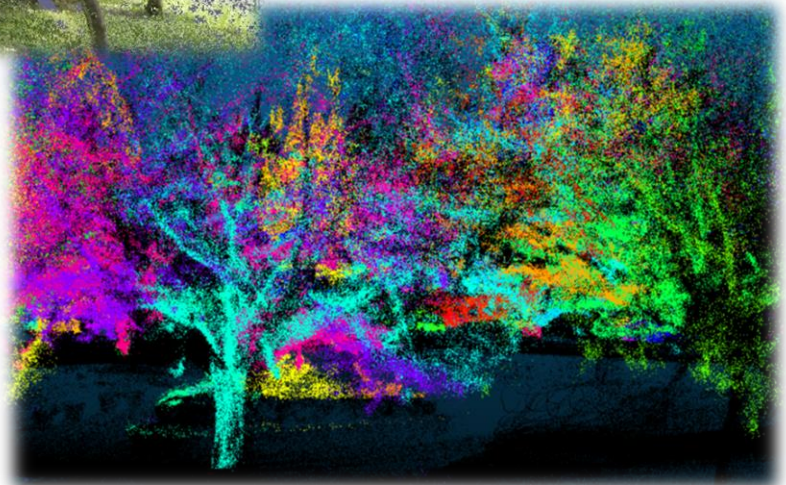
樹木情報の新たな取得方法として点群データによる情報取得があります。点群データとはその名の通り、「点の集まり」であり、写真の画素数に似たイメージで、レーザー照射により物質の輪郭を把握します。高性能なものでは橋梁点検などにも広く使われていますが、今ではスマホ端末にも標準装備されているものがあります。

樹種や危険木の判断などは今のところ難しいようですが、座標情報や樹高、胸高直径などは自動で取得できるようになってきています。また、アセスメントや都市計画での景観シミュレーションや、樹木の張り出しチェックなどの予防管理には点群データのほうが扱いやすい場合もあります。

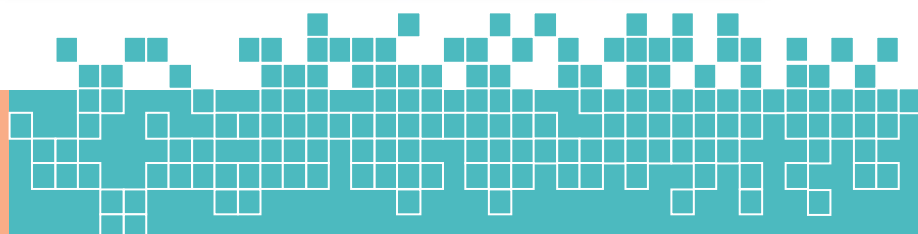
写真のような高精度の点群を取得するのか、必要な情報取得を絞り込み短時間で取得するのか、その利用用途によっても取得方法を使い分けていく必要があります。



写真のような点群データ  
(当社の 3D レーザースキャナーで  
点群取得)



樹木の自動識別の例



# 静岡県環境アセスメント協会 会員一覧

## 株式会社 環境アセスメントセンター

〒420-0047 静岡市葵区清閑町13番12号 Tel054-255-3650 Fax054-253-7891  
環境アセスメント／動植物・生態系調査／環境・防災地質調査／生活環境調査／環境基本計画  
地球温暖化対策実行計画／生物多様性地域戦略／環境教育／適応計画

## 株式会社 サイエンス

〒424-0812 静岡市清水区小芝町4-13 Tel054-361-0200 Fax054-361-0202  
生活環境調査／自然環境調査／影響予測・総合評価／環境計量証明(大気・水質・土壌・悪臭・騒音・振動)  
作業環境測定

## 一般社団法人 静岡県産業環境センター

〒431-2103 浜松市浜名区新都田一丁目4番6号 Tel053-428-3430 Fax053-428-3447  
環境調査／環境計量／影響予測／総合評価環境コンサルティング／環境管理計画／作業環境調査  
エネルギー資源の有効活用

## 静岡コンサルタント 株式会社

〒411-0804 三島市多呂128番地 Tel055-977-8080 Fax055-977-8600  
建設コンサルタント／環境調査・影響予測・総合評価・測量・地質調査・補償コンサルタント／民間開発  
都市計画・区画整理・交通計画／道路・橋梁・上下水道他土木設計／施工管理／農村整備／公園整備

## 株式会社 東日

〒410-0022 沼津市大岡2240-16 Tel055-921-8053 Fax055-924-8122  
環境調査／影響予測・総合評価／道路設計／橋梁設計／治水対策／土砂災害対策／公園緑地設計  
測量／地質／補償／地理情報システム／土地造成設計／民間開発／行政支援

## 株式会社 フジヤマ

〒430-0946 浜松市中央区元城町216-19 Tel053-454-5892 Fax053-455-4619  
環境アセスメント／環境調査／保全対策／民間事業／史跡整備・文化財活用／農業土木  
航空写真測量／地域計画／地形・地質調査／建設コンサルティング／設計・施工監理

発行 2024年1月

静岡県環境アセスメント協会  
TEL054-255-3655

〒420-0047 静岡市葵区清閑町13-12  
HP:<http://www.habi.ne.jp/sea>